

故・白井勝巳氏が採集した 愛知県豊橋市産スナハラゴミムシの記録

長谷川道明¹⁾

A record of *Diplocheila elongata* (Bates) (Coleoptera, Carabidae)
from Toyohashi City, Aichi Prefecture, collected by late Mr. Katsumi Shirai

Michiaki Hasegawa¹⁾

はじめに

豊橋市自然史博物館では令和4年2月に、故白井勝巳氏のご遺族から昆虫コレクションの寄贈を受けた。

白井勝巳氏は、豊橋市域を中心に三河地方の甲虫類のファウナを熱心に調べられておられた方で、寄贈を受けた昆虫標本は約27,000点にのぼる。コレクションは現在、整理中であるが、その中に豊橋市内で採集されたスナハラゴミムシ *Diplocheila elongata* (Bates, 1873) の標本を見出したので、報告する。

スナハラゴミムシ *D. elongata* (Bates, 1873) は、“Hiogo” (兵庫) 産の標本を基に *Rembus* 属の新種として記載された種で、日本 (本州, 四国, 九州) と中国に分布する (Bates, 1873; Habu, 1956; 中根, 1985; 笠原, 1985)。関東地方では比較的記録や採集事例が多いものの、一般に希な種として知られる (森, 2018)。

河川敷や池沼の岸辺、水田周辺などの湿性草地に生息し、夜行性で成虫は水際の泥地でタニシなどの水生巻貝を好んで捕食することが観察されている (小松, 2022) が、水田周辺に生息する種であることから、圃場整備による水田とその周辺環境の画一化や平野部の湿地を伴う環境の減少、消失、変質、水質汚濁等の影響を強く受けていると推測され、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類 (VU) とされているほか、東京都では絶滅、青森、千葉、埼玉、福井、静岡、三重、大

分の7県でそれぞれレッドリストに掲載されている (NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 Envision 環境保全事務所, 日本のレッドデータ検索システム <http://jpnrd.com/index.html> 2024年10月6日閲覧)。

東海地方では、静岡県で「要注目種：部会注目種 (N-III)」 (静岡県くらし・環境部環境局自然保護課, 2020)、三重県で情報不足 (DD) (三重県農林水産部みどり共生推進課, 2015) としてレッドリストにそれぞれ掲載されているが、愛知県と岐阜県ではこれまで記録が知られていない (間野, 2018; 岐阜県昆虫分布研究会, 2015)。

標 本

1 ♂, 豊橋市高塚緑地, 18-VIII-1999, 白井勝巳採集 (TMNH-I-31583)

1 ♀, 同地, 15-VII-2000, 白井勝巳採集 (TMNH-I-31584)

1 ♀, 同地, 12-VII-2001, 白井勝巳採集 (TMNH-I-31585)

1 ♂, 同地, 22-VII-2002, 白井勝巳採集 (TMNH-I-31586)

(第1図)

標本は、すべて豊橋市自然史博物館に保管されている。(TMNH-I ナンバーは、登録番号を示す。)

採集地の「高塚緑地」は、太平洋岸の豊橋市伊古部町枇杷ヶ谷にある面積 257,700 m² の風致公園である (豊橋百科事典編集委員会, 2006)。公園内には、豊橋

1) 豊橋市自然史博物館, Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan.

原稿受付 2024年10月16日. Manuscript received Oct. 16, 2024.

原稿受理 2024年11月29日. Manuscript accepted Nov. 29, 2024.

キーワード: 分布記録, 絶滅危惧種, 白井勝巳コレクション.

Key words: distribution record, endangered species, Katsumi Shirai collection.



第1図. 豊橋市産スナハラゴミムシ, ♂, TMNH-I-31586 とそのラベル.

市少年自然の家と豊橋市野外教育センターの2つの野外教育施設がある。白井氏が採集した詳細な地点までは不明であるが、公園内に本種が好むような水辺環境は乏しく、また、標本数の少なさから、当時でも希な種であったことがうかがわれる。しかしながら、生息地は風致公園という性質上、採集時から大きな環境変化は受けていないと推測され、現在も本種が継続して生息している可能性は高い。今後詳細な調査が望まれる。

謝 辞

貴重な標本を寄贈いただいた、故白井勝巳氏のご遺族に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Bates, H. W., 1873. On the Geodephagos Coleoptera of Japan. *Transactions of the Entomological Society of London*, **22**: 219–322.
- 岐阜県昆虫分布研究会, 2015. 岐阜県昆虫目録 III コウチュウ目. 岐阜県昆虫分布研究会, 岐阜, 786 p.
- Habu, A., 1956. On the Species of *Diplocheila* (Coleoptera, Carabidae) and its Allied Genera of Japan. *Bulletin of the National Institute of Agricultural Sciences, series C*, (6): 49–73.
- 笠原須磨, 1985. スナハラゴミムシ亜科. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編著), 原色日本甲虫図鑑 (II), 保育社, 大阪, 152–154.
- 小松 貴, 2022. 絶滅危惧種スナハラゴミムシの野外における餌メニュー～特にタニシへの顕著な行動について～. 月刊むし, (618): 21–27.
- 間野隆裕 (編), 2018. 昆虫類. 愛知県環境部自然環境課 (編),

愛知県の生物多様性 グリーンデータブックあいち 2018, 愛知県環境部自然環境課, 名古屋, D-1-D-280.

三重県農林水産部みどり共生推進課 (編), 2015. 三重県レッドデータブック 2015 ～三重県の絶滅のおそれのある野生生物～, 三重県農林水産部みどり共生推進課, 津, 757 p.

森 正人, 2018. 兵庫県のスナハラゴミムシ亜科. きべりはむし, **40** (2): 20–22.

中根猛彦, 1985. 日本の甲虫 (69). 昆虫と自然, **20** (9): 18–22.

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課 (編), 2020. まもりたい静岡県の野生生物 2019—静岡県レッドデータブック—<動物編>, 静岡県くらし・環境部環境局自然保護課, 静岡, 539 p.

豊橋百科事典編集委員会, 2006. 豊橋百科事典. 豊橋市文化市民部文化課, 豊橋, 845 p.